# 取扱説明書

audio-technica

赤外線コードレススピーカーシステム

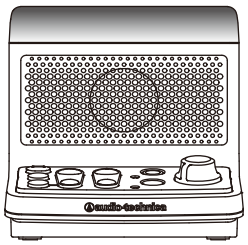
# AT-SP440TV

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

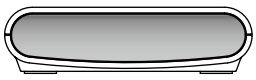
**一部のリモコン付き暖房器具において、家電製品のリモコン操作やノイズで、暖房器具のヒーターが点灯するなどの誤作動が報告されています。**
**リモコン付き暖房器具をご使用のお客様におかれましては、本製品のリモコンを使用される際、リモコン付き暖房器具の誤作動に充分ご注意ください。**

## 内容物を確認する

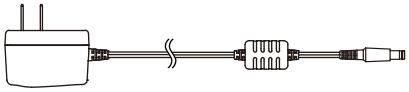
本製品をご使用になる前に、下記の内容物がすべてそろっていることを確認してください。
万一、内容物に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社お客様相談窓口（→16ページ）までご連絡ください。



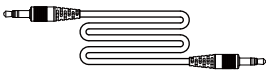
●スピーカー
（AT-SP440R）



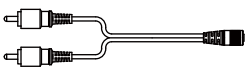
●送信機
（AT330TX）



●送信機専用
ACアダプター
（AD-SD1203AO）



●接続コード（1.0m）



●変換コード（10cm）

●保証書

●かんたんマニュアル

●取扱説明書（本書）

## 安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。 |
| ⚠警告 | この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。 |
| ⚠注意 | この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。 |

## スピーカー／送信機について

### ⚠ 警告

●**指定の AC アダプター以外は使用しない**
事故や火災の原因になります。
●**異常に気付いたら使用しない**
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあったら、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに連絡してください。
そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
●**分解や改造はしない**
感電、故障や火災の原因になります。
●**強い衝撃を与えない**
感電、故障や火災の原因になります。
●**濡れた手で触れない**
感電やけがの原因になります。
●**水をかけない**
感電、故障や火災の原因になります。
●**本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない**
感電、故障や火災の原因になります。
●**布でおおわない**
過熱による火災やけがの原因になります。
●**同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない**
事故や火災の原因になります。

### ⚠ 注意

●**不安定な場所に設置しない**
転倒などによりけがや故障の原因になります。
●**直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない**
故障、不具合の原因になります。
●**火気に近付けない**
変形、故障の原因になります。
●**ベンジンや、シンナー、接点復活保護液などは使用しない**
変形、故障の原因になります。

## AC アダプターについて

### ⚠ 警告

●**AC100V以外の電源には使用しない(日本国内専用)**
過熱による火災など事故の原因になります。
●**本製品以外には使用しない**
過熱による火災など事故の原因になります。
●**異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない**
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店か当社のサービスセンターに連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
●**コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない**
過熱による火災など事故の原因になります。
●**コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む**
過熱による火災など事故の原因になります。
●**コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする**
断線、故障の原因になります。
●**コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない**
断線、故障の原因になります。
●**分解や改造はしない**
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
●**強い衝撃を与えない**
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
●**濡れた手で触れない**
感電によるけがの恐れがあります。
●**布などでおおわない**
過熱による火災など事故の原因になります。
●**プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る**
過熱による火災など事故の原因になります。
●**ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない**
変形、故障の原因になります。

### ⚠ 注意

●**長時間使用しないときは、コンセントから抜く**
省エネルギーにご配慮ください。
●**足に引っかかりやすい場所にコードを引き回さない**
故障や事故の原因になります。
●**通電中のACアダプターに長時間触れない**
低温やけどの原因になることがあります。

## 電池について

| 指定電池 | 単３形アルカリ乾電池または単３形ニッケル水素充電池（別売） |
|---|---|

**※指定電池以外は使用しないでください。**

### ⚠ 危険

**●電池の液が目に入ったときは目をこすらない**
すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。

**●電池の液が漏れたときは素手で液を触らない**
■液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、弊社サービスセンターまでご相談ください。
■万一なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
■皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。
皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。

### ⚠ 警告

**●火の中に入れない、加熱、分解、改造しない**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

**●釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない**
発熱、破損、発火の原因になります。

**●幼児の手の届く所に置かない**
電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。

**●電池は（+）（−）を逆に入れない**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

**●硬貨やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の（+）と（−）を接続しない**
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

**●新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しない**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

**●乾電池は充電しない**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

**●使い切った電池はすぐに取り出す**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

**●長期間使用しない場合は電池を取り出す**
液漏れによる故障の原因になります。

### ⚠ 注意

**●落下させたり強い衝撃を与えない**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

**●以下の場所で使用、放置、保管しない**
■直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
■炎天下の車内
■ストーブなどの熱源の近く
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

**●水に濡らさない**
発熱、破裂、発火の原因になります。

**●外装ラベルがはがれた電池は使用しない、ラベルをはがさない**
ショート状態になりやすく、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

**●変形させたりハンダ付けしない**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

**●保管、廃棄の場合は端子（金属部分）をテープなどで絶縁する**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

**●機器を使用したあとは必ずスイッチを切る**
液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。

**●指定の電池以外使用しない**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

**●使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する**
環境保全に配慮してください。

# 使用上の注意

## 【スピーカー／送信機について】

●ご使用の際は、接続するテレビの取扱説明書も必ずお読みください。
●プラズマテレビでは使用できません。
●本製品以外の赤外線方式を採用したコードレスヘッドホンやコードレスマイクを同時に使用することはできません。
●送信機は同時に 2 台以上使用することはできません。
●耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。
●本製品はモノラルスピーカーです。ステレオ再生機器と接続した場合、モノラルで再生されます。
●直射日光が当たる場所や照明器具の光、コードレスマウス、IH 調理器などの電磁波の影響で、音声が途切れたりノイズが出る場合があります。
●長い間使用すると紫外線 ( 特に直射日光 ) により本体やコードが色あせる場合があります。
●AC アダプター、接続コード、変換コードのプラグは根元まで確実に差し込んでください。
●AC アダプターの抜き差しは、電源を切ってから行なってください。
●AC アダプター、接続コード、変換コードは、コードの断線などを防ぐため、コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。

●φ3.5mm ステレオ／モノラルミニジャックのヘッドホン端子、またはピンジャックのライン出力端子以外の機器と接続する場合は、適切な変換プラグアダプターをお買い求めください。

## 【リモコン部について】

●はじめにメーカー設定が必要です。必ずメーカー設定をしてからご使用ください。
●海外向け商品には対応していません。
●赤外線リモコン付きのテレビのみ操作することができます。
●データ放送には対応していません。
●Blu-ray Disc、DVD などの操作、メニューなどカーソルボタンを必要とする操作はできません。
●2013 年 1 月までに発売されたテレビで検証していますが、一部のテレビでは該当年度でも使用できない場合があります。
また、2013 年 2 月以降に発売されたテレビについても使用できない場合があります。
●太陽光など強い光が当たる場所では、リモコン機能が正常に動作しない場合があります。

●下記の機器には対応していません。

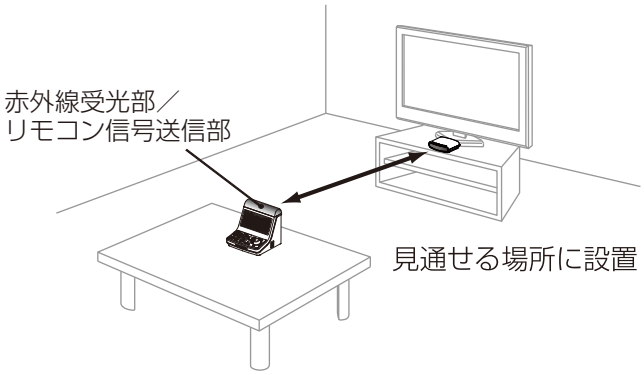
・地上アナログテレビ
・ビデオ一体型テレビ
・車載用テレビ
・ディスプレイとレシーバーがセパレートタイプのテレビ
・テレビチューナー一体型のパソコン
・ポータブルテレビ

## 設置について

本製品は赤外線を利用した機器です。
テレビに送信機をつないでテレビの音声を手元で聞くことができます。
また、リモコン機能でテレビのかんたんな操作が行なえます。
右図のように、スピーカーは送信機との間に障害物がなく、
直接見通せる場所に設置してください。

※スピーカーと送信機の間に障害物があると、
音声が途切れたりノイズが出る場合がありますが、
故障ではありません。

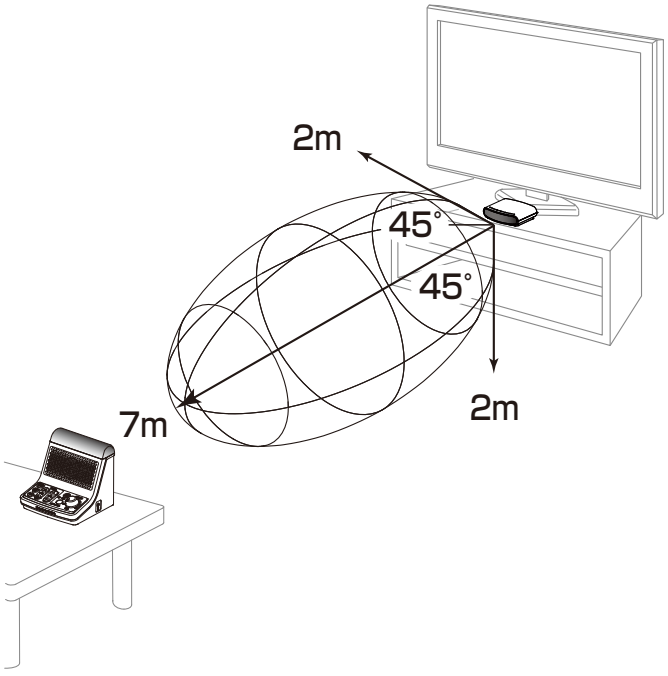
※送信機はスピーカーとできるだけ同じ高さに設置し
障害物を避けてください。




## リスニングエリア／リモコン動作範囲について

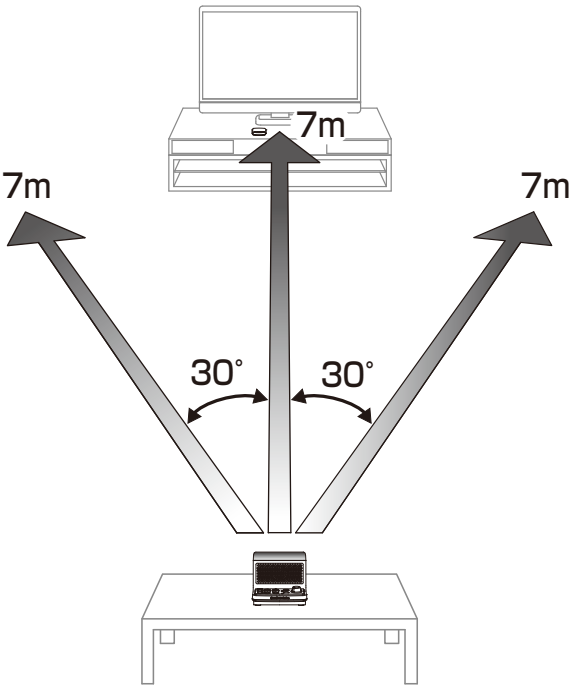
### 【リスニングエリアについて】

スピーカーの位置が送信機に対して、
正面は約 7m、上下左右 45°は約 2m の範囲
で使用できます。スピーカーはどの向きに設置
しても音が出ます。




### 【リモコン動作範囲について】

テレビの位置がスピーカーに対して、
正面、左右 30°約 7m の範囲で使用できます。




※リスニングエリア内でも、直射日光が当たる場所や照明器具、コードレスマウス、IH 調理器などの
近くでは光や電磁波の影響を受けやすくなります。それらを避けた場所に設置してください。

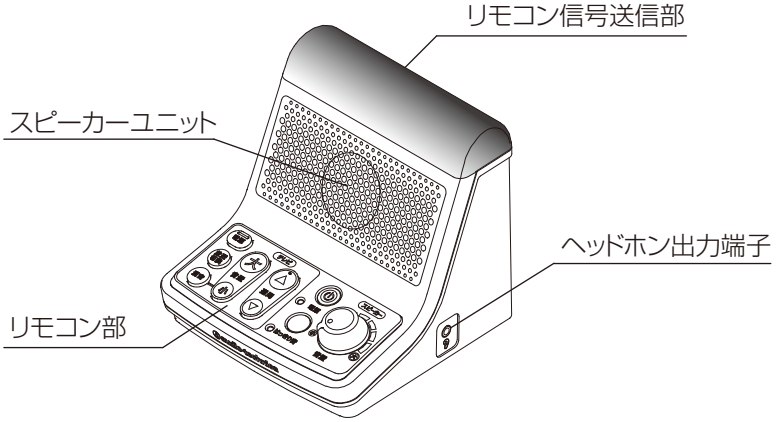
※リスニングエリア内でも、送信機から離れることで雑音が増えますが、故障ではありません。
できるだけ聞きやすい場所に設置してください。

※使用する環境によっては、リスニングエリアが狭くなる場合があります。

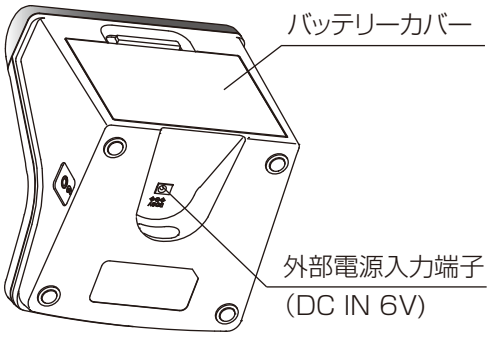
# 各部の名称

## スピーカー　AT-SP440R

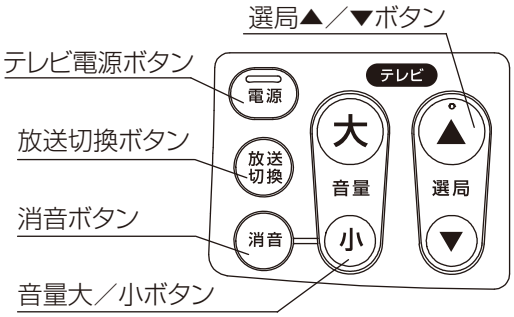
### 正面



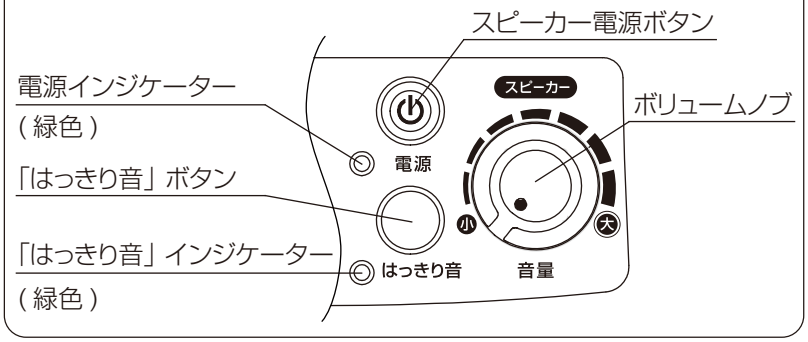

### 背面




【リモコン部】

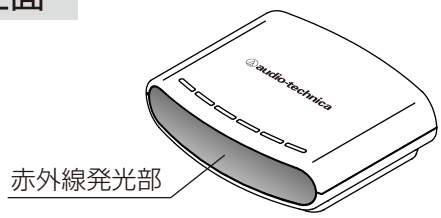



【スピーカー操作部】

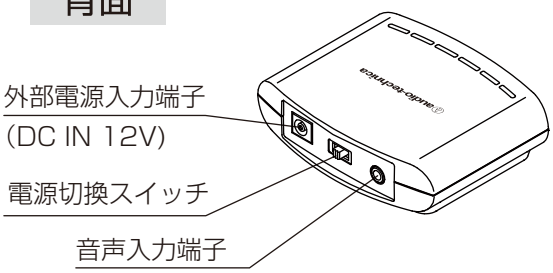



## 送信機　AT330TX

### 正面

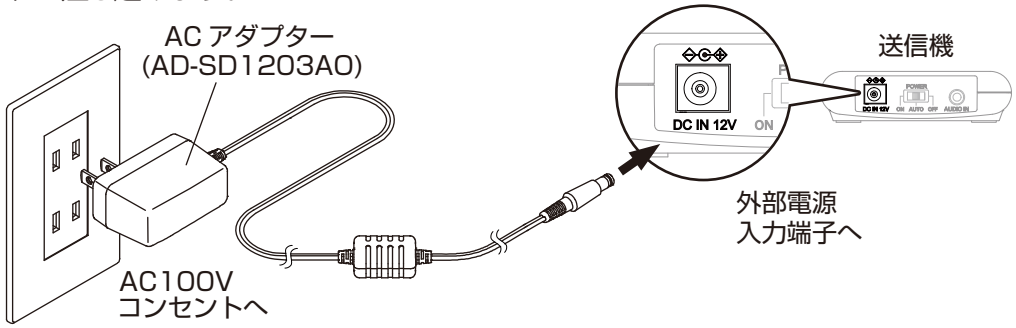



### 背面




# 送信機を準備する

1. 送信機の電源切換スイッチが「OFF」になっていることをご確認ください。
2. 送信機と付属の送信機専用 AC アダプター (AD-SD1203AO) を接続し、片方を AC100V コンセントへ差し込みます。



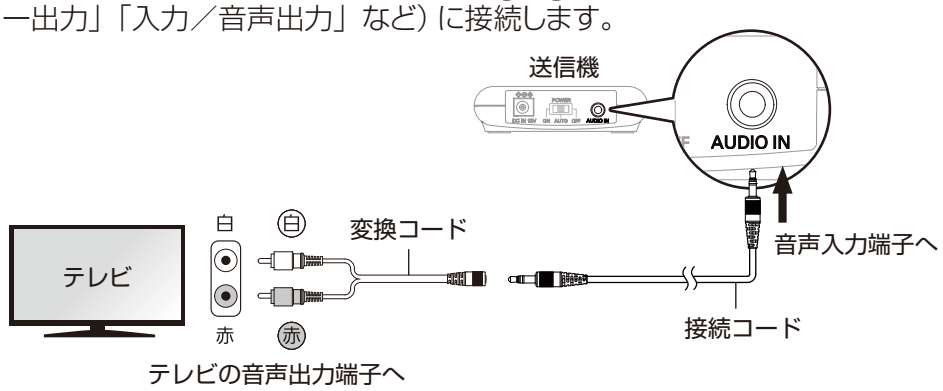
# テレビとの接続のしかた

**テレビとの接続には使用したい場面にあわせて、以下の２種類の方法があります。**
＊接続するテレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

## ①スピーカーとテレビの両方から音声を出したい

テレビの音声出力端子に接続します。

付属の変換コードを付属の接続コードに接続し、プラグ（白 赤）をテレビの音声出力端子（テレビによっては「モニター出力」「入力／音声出力」など）に接続します。

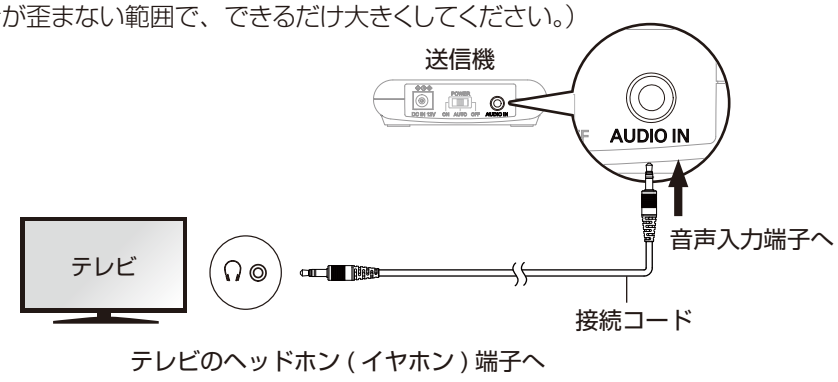



- ●テレビの音量を変えてもスピーカーの音量は変わりません。
- ●テレビ側の「音声出力設定」を変更しないと音声が出力されない場合があります。
  詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。
- ●お持ちのテレビに音声出力端子がない場合は②の方法で接続してご使用ください。
- ●一部のテレビでは、HDMI 入力端子がほかの機器と接続されていると、①の接続方法では本製品の音声が出ない場合があります。その際は、②の接続方法でご使用ください。

## ②テレビの音は消してスピーカーだけ音声を出したい

テレビのヘッドホン ( イヤホン ) 端子に接続します。

付属の接続コードをテレビのヘッドホン ( イヤホン）端子に接続します。
（テレビの音量を音が歪まない範囲で、できるだけ大きくしてください。）

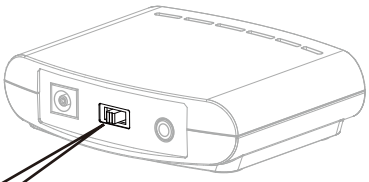


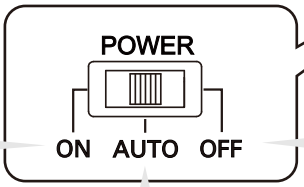

- ●「スピーカー出力切換」など、テレビ側の音声をON／OFFできるテレビでは、スピーカーとテレビの両方から音声を出すこともできます。詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。

## 送信機の電源切換を設定する

**使用する前に送信機の準備、テレビとの接続を確認してください。**
＊接続するテレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

送信機の電源切換スイッチは「ON」「AUTO」「OFF」の
3 段階の切り換えになっています。
お買い上げ時の電源切換スイッチは OFF の状態にセットされて
いますので、使用状況によって電源の切り換えを行なってください。





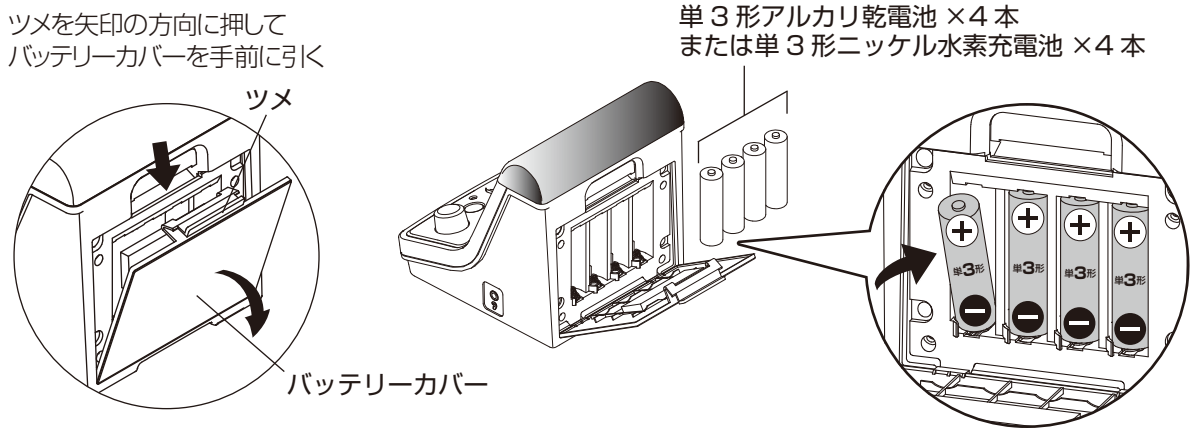

**「ON」… 電源オン**
常に送信機の電源が入っている状態です。

**「OFF」… 電源オフ**
常に送信機の電源が切れている状態です。

**「AUTO」… オートパワーオン／オフ**
テレビの音声信号が入ると自動的に送信機の電源が入ります。
また、**約 2 分間音声信号がない、もしくはテレビの音量が小さい状態が続くと、自動的に送信機の電源が切れます。**
再び音声信号が入ると、自動的に送信機の電源が入ります。

## スピーカーを準備する

1. ツメを押してバッテリーカバーを外します。
2. 指定の単 3 形電池 4 本 ( 別売 ) を本体の極性表示 ( ⊕ ⊖ の表示 ) に合わせて入れます。
3. バッテリーカバーを“カチッ”と音がするまで戻します。




### 電池交換の目安

●電池残量が少なくなると、リモコン部のボタンを押した際にスピーカーの音に雑音が入る場合があります。
また、リモコンの動作範囲が狭くなります。その場合は早めに新しい電池に交換するか、別売のACアダプターをご使用ください。

●電池残量がなくなると、“ピーピーピーピーピー”と音が鳴りながら電源インジケーターが点滅し、電源が切れます。
※はっきり音機能が入っている場合は、はっきり音インジケーターも点滅します。

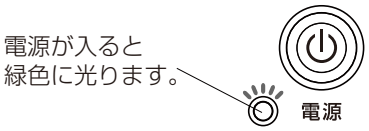
●長い間使用しない場合は電池を取り出してください。

# スピーカーの使いかた

**スピーカーの電源が切れていることを確認し、テレビの電源を入れます。**
＊音声はモノラルになります。主音声・副音声がある番組などでは、両方の音声が同時に出力されます。

### スピーカーの電源を入／切する

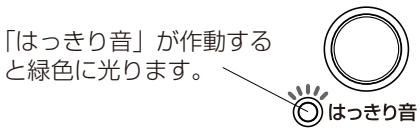
スピーカー電源ボタンを押して電源を入れてください。




使い終わったら、スピーカー電源ボタンを押して
電源を切ってください。
電源インジケーターも消灯します。

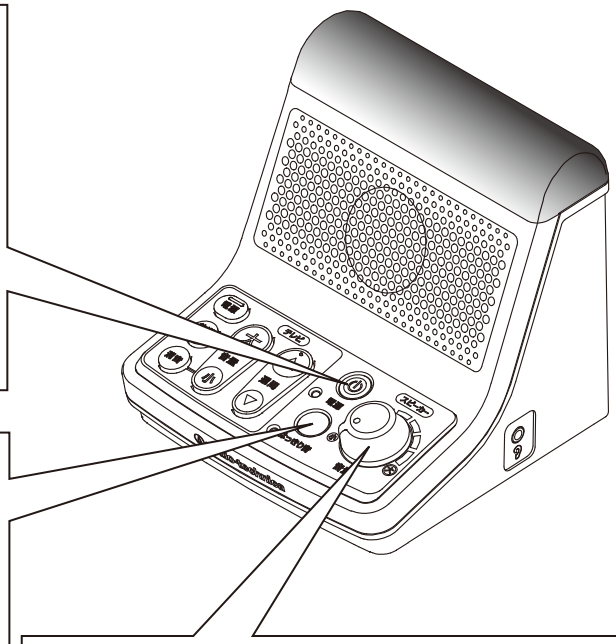
### 「はっきり音」機能を使用する

「はっきり音」ボタンを押すと、音声や台詞を明瞭に
聞くことができます。




※「はっきり音」の効果には個人差があります。
※「はっきり音」ボタンをもう一度押すと解除されます。

本製品の「はっきり音」は、モノラルスピーカー専用の音声補正技術として当社が独自開発しました。
この技術により、テレビなどでドラマや映画を観るときに、台詞や音声が聞こえやすくなります。



### 音量を調整する

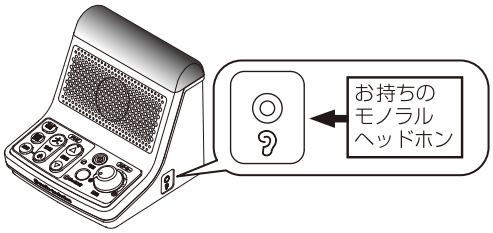
スピーカーのボリュームノブで音量を調整してください。

ノブを右に回すと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。

※音が歪んだ場合は、テレビの音量も下げてください。

## ヘッドホン出力機能

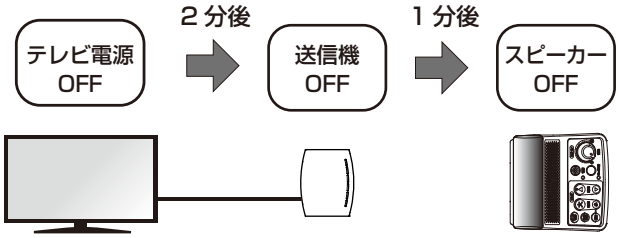
スピーカーのヘッドホン出力端子に、お持ちのモノラルヘッドホンを接続すると、テレビの音声をヘッドホンで聞くことができます。
スピーカーのボリュームノブで音量を調整してください。




※スピーカーからは音が出なくなります。
※ステレオヘッドホンを接続した場合は、ヘッドホンの左側から
左右の音声がまとめて出力されます。
※ステレオヘッドホンを使用して両側から音声を出力したい場合は、別売のステレオーモノラル変換プラグアダプターが必要です。この場合、ヘッドホンの両側からそれぞれ左右の音声がまとめて出力されます。
※「はっきり音」ボタンを押すと、スピーカー同様に音声やセリフを明瞭に聞くことができます。

# スピーカーの使いかた（つづき）

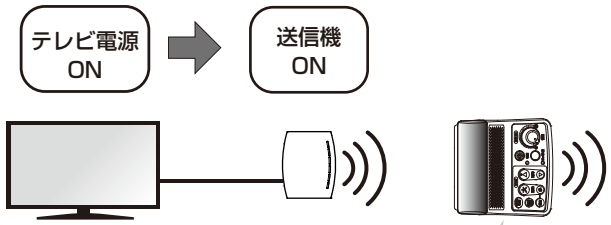
## オートパワーオフ機能




送信機の電源切換スイッチが「AUTO」の場合、
**約 2 分間音声信号がない、もしくはテレビの音量が小さい状態が続くと自動的に送信機の電源が切れ、待機状態 ( 省エネモード ) になります。**

**送信機の電源が切れてから約 1 分後にスピーカーの電源も切れ、※ 電源インジケーターが消灯します。**

※送信機の電源切換スイッチが「ON」の場合は、
スピーカーのオートパワーオフ機能は働きません。




スピーカーの電源は自動では入りません。

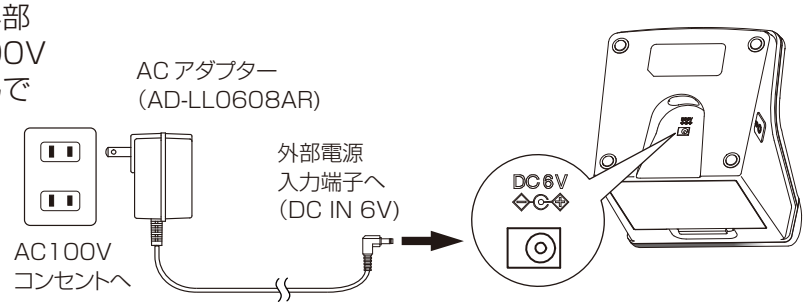
左記の待機状態で、テレビからの音声信号が入ると自動的に送信機の電源が入ります。
スピーカーの電源が切れている場合は、スピーカー電源ボタンを押して電源を入れてください。

●「テレビとの接続のしかた」（→7 ページ）で②の接続をし、送信機の電源切換スイッチを「AUTO」の状態にしている場合は、テレビの音量を歪まない範囲でできる限り大きくしておいてください。

# ACアダプター(別売)でスピーカーを使用する

**別売のスピーカー用 AC アダプター (AD-LL0608AR) を使用して、電池残量を気にすることなくスピーカーを使用することができます。**

右図のように、スピーカー底面にある外部電源入力端子にプラグを接続し、AC100V コンセントに AC アダプターを差し込んでください。




＊お買い求めいただく際は販売店、または当社サービスセンターにお問い合わせください。

**⚠注意**

●送信機用 AC アダプター (AD-SD1203A0) は絶対に接続しないでください。
●電池が入っている状態で AC アダプターを使用した場合は、スピーカーは AC アダプターで動作します。長い間使用しない場合は電池を取り出してください。

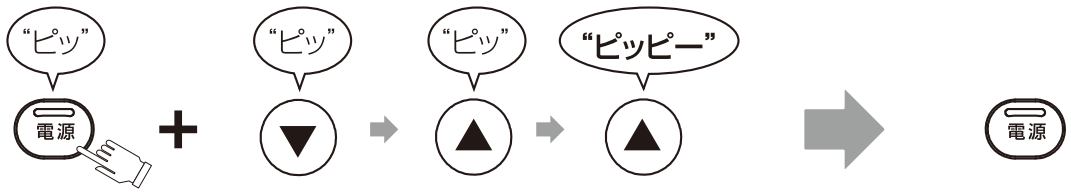
# リモコンの設定のしかた

**リモコンを使用するにはメーカー設定が必要です。必ずメーカー設定をしてから使用してください。**

## 1.メーカー設定をする

**ご使用になるテレビのメーカー設定を行ないます。**
**お持ちのテレビを使用できるようにするための設定です。**
**テレビ電源ボタン**を押したまま、下記設定手順一覧表のボタンを順に押してから、
**テレビ電源ボタン**を離します。

**例 ) シャープ社の地上デジタルテレビを設定する場合**
シャープ社のテレビは設定手順が 2 種類あります。
はじめに▼➡▲➡▲から設定を行ないます。




テレビ電源ボタンを
押したまま

▼ → ▲ → ▲ を順に押します。
設定が完了すると「ピッピー」と音が鳴ります。

テレビ電源ボタンを離します。
メーカーの設定が完了しました。

**“ピー”または“ピッピッピー”と鳴ったら**

**設定が完了していません。**
・ボタンを押し間違えていませんか？
・設定中にテレビ電源ボタンを離していませんでしたか？
・20 秒以上操作をしない場合は設定状態が解除されます。

➡ **もう一度設定をやり直してください。**

**メーカー設定がロック状態ではありませんか？**

➡ **メーカー設定のロックを解除してください。**
※「メーカー設定ロック機能の使いかた」を参照してください。(→13 ページ)

### 設定手順一覧表

| メーカー | 設定 |
|---|---|
| ソニー | ▼ ➡ 大 ➡ ▲ |
| | ▼ ➡ 大 ➡ ▼ |
| | ▼ ➡ 大 ➡ 小 |
| パナソニック | ▼ ➡ ▼ ➡ 大 |
| 東芝 | ▼ ➡ 大 ➡ 大 |
| 日立 | ▼ ➡ ▼ ➡ ▲ |
| | ▼ ➡ ▼ ➡ ▼ |

| メーカー | 設定 |
|---|---|
| 三菱電機 | ▼ ➡ ▼ ➡ 小 |
| サンヨー | ▼ ➡ ▲ ➡ 小 |
| シャープ | ▼ ➡ ▲ ➡ ▲ |
| | ▼ ➡ ▲ ➡ ▼ |
| パイオニア | ▼ ➡ 小 ➡ 小 |
| DX アンテナ | ▼ ➡ 小 ➡ ▲ |
| JVC (ビクター) | ▼ ➡ ▲ ➡ 大 |

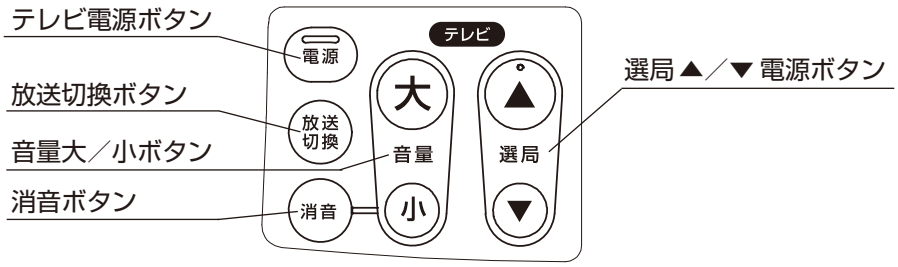
## 2.動作の確認をする

リモコンを操作して、テレビが一通り動作すれば設定完了です。
テレビの電源が入らない、一部のボタンが動作しないなど、うまく動作しない場合は
もう一度メーカー設定を行なうか、設定手順が複数ある場合には別の設定でやり直してください。

●メーカーによっては機能の名称が異なることがあります。
●設定によっては一部の機能が操作できない場合があります。
●テレビによっては一部の機能が操作できない場合があります。

# リモコンの使いかた

**テレビのかんたんな操作をすることができます。**
※スピーカーの電源が入っていなくても操作できます。




| したいこと | 操作方法 |
|---|---|
| **テレビの電源を入／切したい** | **テレビ電源ボタン**を押します。 |
| **放送を切り換えたい** | **放送切換ボタン**を押して放送を切り換えます。 |
| **チャンネルを換えたい** | **選局▲／▼ボタン**を押してチャンネルを選択します。 |
| **テレビの音量を調整したい** | **音量大／小ボタン**を押して音量を調整します。 |
| **テレビの音声を一時的に消したい** | **消音ボタン**を押します。<br>音声を出したいときはもう一度ボタンを押します。 |

※電池残量が少なくなると、リモコン部のボタンを押した際にスピーカーの音に雑音が入る場合があります。また、リモコンの動作範囲が狭くなります。その場合は新しい電池に交換するか、別売のACアダプターをご使用ください。
※テレビの電源を本製品のリモコンで入／切する場合、テレビによっては雑音が入ることがありますが、故障ではありません。

# キータッチ音設定機能の使いかた

**ボタンを押すと”ピッ”と鳴るキータッチ音を消すことができます。**
※工場出荷時はキータッチ音が鳴る設定になっています。

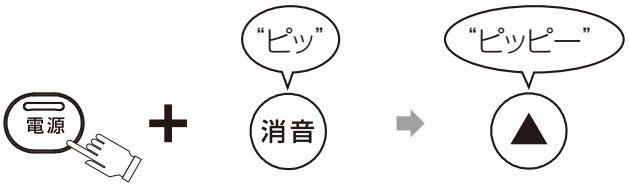
## キータッチ音を消したいとき

**テレビ電源ボタン**を押したまま、**消音ボタン**、**選局▲ボタン**の順に押します。

テレビ電源ボタンを押したまま　消音 → ▲ を順に押します。
設定が完了するとキータッチ音が鳴らなくなります。

## キータッチ音を鳴らしたいとき

**テレビ電源ボタン**を押したまま、**消音ボタン**、**選局▲ボタン**の順に押します。
“ピッピー”と音が鳴り、キータッチ音が鳴ります。




テレビ電源ボタンを押したまま　消音 → ▲ を順に押します。
設定が完了すると「ピッピー」と音が鳴ります。

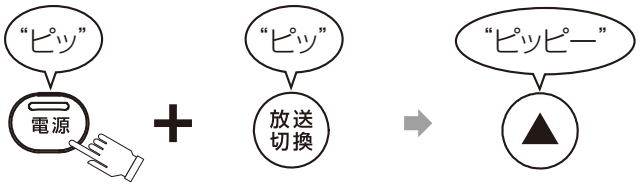
# メーカー設定ロック機能の使いかた

**設定が誤って変更されるのを防ぐためメーカー設定をロックすることができます。**

※工場出荷時はメーカー設定のロックが解除されています。

### メーカー設定をロックしたいとき

**テレビ電源ボタン**を押したまま、**放送切換ボタン**、**選局▲ボタン**の順に押します。
“ピッピー”と音が鳴り、メーカー設定がロックされます。

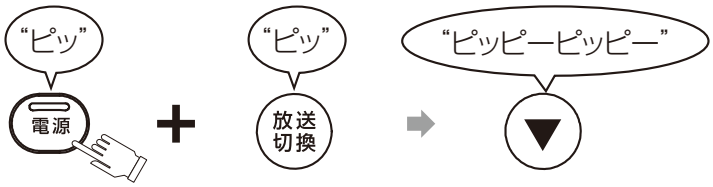



テレビ電源ボタンを
押したまま

放送切換 → ▲ を順に押します。
設定が完了すると「ピッピー」と音が鳴ります。

### メーカー設定のロックを解除したいとき

**テレビ電源ボタン**を押したまま、**放送切換ボタン**、**選局▼ボタン**の順に押します。
“ピッピーピッピー”と音が鳴り、メーカー設定のロックが解除されます。




テレビ電源ボタンを
押したまま

放送切換 → ▼ を順に押します。
設定が完了すると「ピッピーピッピー」と音が鳴ります。

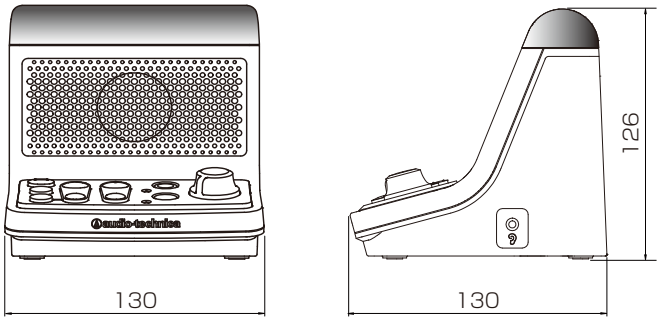
# ボタン押しっぱなしガード機能について

**本製品は、リモコン部のボタンが誤って押し続けられることによる電池消耗を防止するため、**
**一定時間（約 60 秒）リモコン部のボタンが押し続けられると、信号送信が自動的に止まります。**

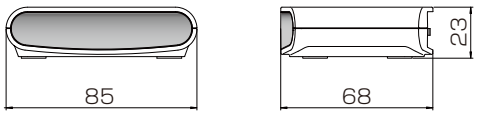
※設定は不要です。

# 外形寸法図 (単位:mm)

**スピーカー　AT-SP440R**




**送信機　AT330TX**



# 故障かな?と思ったら

| 症状 | ご確認ください | 対処方法 |
|---|---|---|
| 音が出ない | スピーカー、送信機の電源が入っていますか? | →電源を入れてください (8 ページ、9 ページ) |
| | スピーカーの電源インジケータが消えていませんか? | →電池を交換してください (8 ページ)<br>→電池の極性を合わせてください (8 ページ)<br>→AC アダプターを正しく接続してください (6 ページ、10 ページ) |
| | 送信機とテレビが正しく接続されていますか? | →送信機とテレビの接続を確認してください (7 ページ) |
| | テレビの電源が入っていますか? | →テレビの電源を入れてください (9 ページ) |
| | テレビの音量が下がったままではありませんか? | →音量を調整してください (9 ページ) |
| | スピーカーにヘッドホンを接続していませんか? | →ヘッドホンを外してください (9 ページ) |
| | テレビの音声出力端子が「可変」ではありませんか? | →テレビの音量を上げてください |
| | テレビの「入力／音声出力」に接続していませんか? | →テレビの設定を音声出力にしてください<br>→テレビの取扱説明書をご確認ください (7 ページ) |
| | コードのプラグが接続した端子から外れていませんか? | →確実に接続してください (7 ページ) |
| 音が歪む／途切れる | 白熱灯や蛍光灯、コードレスマウス、IH 調理器、プラズマテレビなどがスピーカーのすぐ近くにありませんか? | →プラズマテレビでは使用できません (4 ページ)<br>→雑音がなくなる位置までスピーカーを離してください (5 ページ) |
| | スピーカーの電池が消耗していませんか? | →新品の電池か、充電済みの充電池に入れ換えてください (9 ページ)<br>→別売の AC アダプター (AD-LL0608AR) をご使用ください (10 ページ) |
| | スピーカーの音量を上げすぎていませんか? | →スピーカーの音量を下げてご使用ください (9 ページ) |
| | テレビの音量を上げすぎていませんか? | →テレビの音量を適度に下げてください (9 ページ) |
| | 送信機を複数使用していませんか? | →送信機は同時に 2 台以上使用しないでください (4 ページ) |
| | 直射日光の当たる場所で使用していませんか? | →カーテンなどでスピーカーに直射日光が当たらないようにするか、直射日光の当たらない場所でご使用ください (4 ページ) |
| | テレビの音量を下げすぎていませんか? | →オートパワーオフ機能が働いています。テレビの音量を上げてください (10 ページ)<br>→送信機の電源切換スイッチを「ON」にしてください (8 ページ) |

# 故障かな?と思ったら(つづき)

| 症状 | ご確認ください | 対処方法 |
|---|---|---|
| 音が歪む／途切れる | 正しく設置されていますか? | →送信機とスピーカーの間に障害物がある場合は、障害物を取り除いてください (5 ページ) |
| | | →送信機とスピーカーの間は 7m 以内で使用してください (5 ページ) |
| | | →送信機とスピーカーの位置や角度を調整し直してください (5 ページ) |
| | | →送信機の赤外線発光部とスピーカーの赤外線受光部をおおわないように使用してください (5 ページ) |
| メーカー設定ができない | メーカー設定にロックがかかっていませんか? | →メーカー設定ロック機能を解除してください (13 ページ) |
| テレビが動作しない | メーカー設定されていますか? | →メーカー設定をしてください (11 ページ) |
| | テレビの主電源は入っていますか? | →テレビの主電源を入れてください |
| | テレビは赤外線リモコン対応ですか? | →対応しているテレビかご確認ください (4 ページ) |
| | 対応していないテレビではないですか? | →対応しているテレビかご確認ください (4 ページ) |
| | 直射日光の当たる場所で使用していませんか? | →カーテンなどでスピーカーやテレビに直射日光が当たらないようにするか、直射日光の当たらない場所でご使用ください (4 ページ) |
| | スピーカーの電池が消耗していませんか? | →新品の電池か、充電済みの充電池に入れ換えてください (8 ページ) |
| | | →別売の AC アダプター (AD-LL0608AR) をご使用ください (10 ページ) |
| キータッチ音が鳴らない | キータッチ音が鳴らない設定になっていませんか? | →キータッチ音を鳴らす設定にしてください (12 ページ) |
| ボタン操作ができない | ほかのボタンが押しっぱなしになっていませんか? | →一旦全部のボタンを押さずに離して、再度操作してください (13 ページ) |

| | |
|---|---|
| これでも症状が良くならない場合は | お買い上げの販売店、または当社のお客様相談窓口へお問い合わせください (16 ページ) |

# テクニカルデータ

● 送受信システム

| | |
|---|---|
| 送信方式 | ：赤外線 FM 変調、モノラル、1 周波タイプ |
| 搬送波周波数 | ：2.8MHz |
| 赤外線波長 | ：850 ～ 900nm |
| リスニングエリア | ：正面：約 7m、上下左右 45°：約 2m |

● スピーカー

| | |
|---|---|
| 型式 | ：アンプ内蔵スピーカーシステム |
| スピーカーユニット | ：φ40mm |
| 最大出力 | ：0.75W( 単 3 形アルカリ乾電池使用時)<br>0.75W( 単 3 形ニッケル水素充電池使用時)<br>1W(AC アダプター使用時) |
| 出力端子 | ：φ3.5mm モノラルミニジャック |
| 電源 | ：単 3 形アルカリ乾電池 ×4 本 ( 別売)<br>または、単 3 形ニッケル水素充電池 ×4 本 ( 別売)<br>DC6V( 別売の AC アダプターを使用、日本国内専用) |
| 連続使用時間 | ：約 40 時間 ( 単 3 形アルカリ乾電池 10mW 出力時)<br>約 30 時間 ( 単 3 形ニッケル水素充電池 10mW 出力時) |
| 外形寸法 | ：H126×W130×D130mm |
| 質量 | ：約 370g( 電池除く) |
| リモコン送信方式 | ：パルス変調搬送波赤外線発光方式 |
| リモコン送信範囲 | ：正面、左右 30°：約 7m |

● 送信機

| | |
|---|---|
| 電源 | ：DC12V( 付属の AC アダプターを使用、日本国内専用) |
| 信号入力 | ：HP 入力／ライン入力：AUDIO IN(φ3.5mm ステレオミニジャック) |
| 外形寸法 | ：H23×W85×D68mm |
| 質量 | ：約 50g |

● 付属品

| | |
|---|---|
| 接続コード | ：φ3.5mmステレオミニプラグ⇔φ3.5mmステレオミニプラグ (1.0m) |
| 変換コード | ：RCA ピンプラグ ×2⇔φ3.5mmステレオミニジャック (10cm) |
| 送信機専用 AC アダプター | ：AD-SD1203A0 |

● 別売

スピーカー専用 AC アダプター ：AD-LL0608AR または AD-LL0608AH

( 改良などのため予告なく変更することがあります。)

**アフターサービスについて**
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間･規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。


株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市西成瀬 2-46-1
http://www.audio-technica.co.jp


**お問い合わせ先**(電話受付 / 平日9：00～17：30)
製品の仕様･使いかたや修理･部品のご相談は、販売店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。


●**お客様相談窓口(製品の仕様･使いかた)**　**0120-773-417**
(携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0211)
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp
●**サービスセンター(修理･部品)**　**0120-887-416**
(携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0212)
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp
●**ホームページ(サポート)**
www.audio-technica.co.jp/atj/support/


192301880C